

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	大分県	事業実施主体	大分県 大分市	地域再生計画名	癒やしの里「のつはるまち」地域資源活用計画
計画期間	令和２年度～令和６年度	評価責任者	大分県農林水産部 林務管理課長 長谷部孝行、大分県大分市農林水産部長 温水一徳		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価			
			基準年度		年度	中間実績		基準年度	最終実績							
	目標1	林業の振興と森林整備の促進 （年間主伐間伐面積）	2.0ha	R 1	2.6ha	R 4	0.0ha	3.0ha	R 6		7.2ha	○			指標 総数	達成 数
	目標2	観光者数の増（交流人口）	6.3万人	R 2	16.8万人	R 4	23.5万人	17.0万人	R 6		38.7万人	○			3	3
	目標3	農林水産物の販売額	100万円	R 2	1,000万円	R 4	7,776万円	1,000万円	R 6	7,749万円	○			最終目標値の実現状況は、実績が目標を大きく上回った。		
②事業の実施状況に関する客 観的な指標（KPI）の実現状 況	重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況					
	指標1	森林主伐間伐面積の増加	2.0ha	R 2	2.6ha	R 4	0.0ha	3.0ha	R 6		7.2ha	-				路線開通の効果により森林へのアクセス改善が図られ森林整備が効率よく行うことができ、実績が目標を上回った。
	指標2	観光客数の増	6.3万人	R 2	16.8万人	R 4	23.5万人	17.0万人	R 6		38.7万人	-				宇曽山荘の認知度が高まり、コロナウィルスの影響が減少したことにより、観光客数が増加したと考えられる。
	指標3	農林水産物の販売額	100万円	R 2	1,000万円	R 4	7,776万円	1,000万円	R 6		7,749万円	-				最終目標値の実現状況は、実績が目標を大きく上回った。
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価										
			計画	中間年度 （R 4）	最終実績											
地域再生計画に記載がある 特別の措置を適用して 行う事業	林道入蔵大峠2号線整備事業	655m	(655m)	655m	R6年度をもって事業完了											
	林道御座ヶ岳線整備事業	60m	52m (20m)	72m	R5年度をもって事業完了											
	市道 竹ノ内泉線 整備事業	520m	520m	355m	R4年度をもって事業完了 工事実施にあたり現地精査の結果、事業量が減となった											
	市道 竹の内三国境線 整備事業	1,000m	680m	800m	R5年度をもって事業完了 工事実施にあたり現地精査の結果、事業量が減となった											
	市道 尾原線 整備事業	1,300m	1,300m	1,200m	R4年度をもって事業完了 工事実施にあたり現地精査の結果、事業量が減となった											
	市道 高沢小原線 整備事業	1,005m	1,005m	626m	R4年度をもって事業完了(舗装修繕331m、側溝改築295m) 工事実施にあたり現地精査の結果、事業量が減となった											
	市道 入蔵線 整備事業	1,300m	420m	1,471m	R5年度をもって事業完了(舗装修繕1,234m、側溝改築237m) 工事実施にあたり現地精査の結果、事業量が増となった											
	市道 安友線 整備事業	70m	0m	32m	R6年度をもって事業完了 工事実施にあたり現地精査の結果、事業量が減となった											
	市道 石合今市線 整備事業	500m	500m	500m	R4年度をもって事業完了											
	市道 辻原線 整備事業	110m	110m	79m	R3年度をもって事業完了 工事実施にあたり現地精査の結果、事業量が減となった											
その他の事業	地方創生拠点整備交付金事業	道の駅のつはるの整備（完成済）			完成済。											
計画外で独自に実施した 事業	市単独事業 （道路・歩道・待機所・側溝整備）	地域住民の利便性向上と生活空間の安全確保のための道路・歩道・待機所・側溝整備			毎年要望に基づいて、道路拡幅や側溝改築等を実施しており、利用者への安全を図っている。											
	市単独事業 （管理林道の未舗装路線整備）	管理林道のうち未舗装路線について、舗装等を実施することで利用者の運行の安全を図る。			管理林道の未舗装路線について、毎年度、舗装改良を実施しており、利用者の運行の安全を図っている。											
	市単独事業 （のつはる天空広場の整備）	のつはる天空広場の整備			大分川ダム堤体に使用した土(コア材)を採取した山の跡地について、野津原地域の振興を目的に、音楽や農業イベントなどの交流の場として利活用できる「のつはる天空広場」を整備した。 令和2年3月本体工事完了。同年7月供用開始。											
	電源立地地域対策交付金事業	芹川ダムの水力発電施設に係る道路整備			R2年度をもって事業完了											
	森林セラピー魅力創出事業	森林資源を活用した市民の健康維持増進と地域資源を活用した里山地域の活性化並びに新たな観光資源の開発			広報誌の活用により、個別案内プログラムの利用者数の増加に繋がった。今後は若い世代にも「森林セラピー」を利用してもらえるようにアプローチしていく。											
	おおいた産品創出・魅力発信事業	農林水産物品等の地域資源を活用した地域経済の活性化促進			大分市産(野津原産含む)にらを使用した新たな商品の研究開発や商品化、販路拡大等を支援する補助金の交付を行った。											
	「ふれあい交通」運行事業	公共交通の利用が不便な地域の移動手段を確保し、バス利用の促進を図る			野津原地域では、令和5年度に地元の要望により新設した入蔵ルートを加えて、現在6ルートを運行している。 毎年、利用者のニーズを運行計画に反映させるとともに、地域に事業の周知を行い、継続的に利用促進に取り組んでいる。											
④評価方法	学識経験者等の第三者の意見を踏まえ、最終目標値の実現状況に関する事後評価を行った。（R7.9.30）															
⑤事後評価の公表方法	大分県・大分市のホームページに掲載。															
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した林道整備と市道整備を一体的に行うことにより、効率的な道路路網を構築することで、林業の活性化及び地域の豊富な観光資源をネットワーク化した観光拠点施設へのアクセス改善や地域住民との交流を図ることを目的としている。 事業の実施に伴い指標1から指標3すべてにおいて目標を達成しており、地元住民からの苦情はなく、道が整備されたことによって利便性が向上したという声も上がっている。 事業完了後の実績や実際の活用状況を踏まえ、今後も引き続き有効活用されるものと判断されるため、事業の効果は十分に発揮されたものと評価する。															
⑦今後の方針等	特になし。															